

令和6年度事業報告

令和6年度事業計画に基づき効率的・効果的な実施に留意しつつ、各種事業について以下のように実施した。

1. 通信教育事業の実施に関する事項

- (1) 通常コース及び美容・理容修得者コースについて、229校の養成施設との業務委託契約に基づき、配本及び添削指導による通信授業を、CenterWebを有効に活用し、適正かつ円滑に実施した。また、令和5年度より開始したe-Learningによる報告課題の添削指導については、通信23期及び24期・別科23年度及び24年度の通信科生に対して実施した。
- (2) 添削指導について厳格かつ正確性の徹底を図り行った。
- (3) 添削指導による中学卒業生講習を継続して実施した。
- (4) 通信科生向け機関誌「学習だより」（2024年夏号、2025年冬号）について、企画及び記事の刷新と充実を図り、配付した。

2. 昼・夜間課程用教科書の編纂等に関する事項

- (1) 必修課目教科書については、前年版に修正を加えたうえで、令和7年3月より販売を行った。また、「理容技術理論1」・「理容実習1」、並びに「美容技術理論1」・「美容実習1」については、パーマネットウエーブ及びヘアカラーリングの施術写真を、健康被害防止の観点からすべて手袋を着用したものに差し替えた。
- (2) 選択課目等の教科書については、「現代社会（高等科）」に大幅な修正を加えたほか、「理容・美容カウンセリング」の語句訂正を行ったうえで発行・販売した。
- (3) 教科書編纂委員会について、次の日程で実施した。

<教科書編纂委員会>

- 1) 教科書編纂委員会
第2回 令和6年 5月13日
- 2) 関係法規・制度教科書編纂委員会
第2回 令和6年 9月 9日
- 3) 衛生管理教科書編纂委員会
第2回 令和6年 8月30日
- 4) 保健教科書編纂委員会
第2回 令和6年 8月28日
- 5) 化粧品化学教科書編纂委員会
第3回 令和6年10月18日
- 6) 文化論教科書編纂委員会
第2回 令和6年 8月29日
- 7) 運営管理教科書編纂委員会
第2回 令和6年 9月18日
- 8) 理容技術理論・理容実習教科書編纂委員会
第2回 令和6年 8月 8日

9) 美容技術理論・美容実習教科書編纂委員会

第3回 令和6年9月13日

3. 教員資格認定研修会の実施及び地区養成施設協議会主催教職員研修会の支援等に関する事項

(1) 理容師美容師養成施設教員資格認定研修会は、令和6年3月22日厚生労働省発生食0322第15号（理容）及び第16号（美容）により厚生労働省の認定を受け、次のとおり実施した。延べ受講者数は331名（再受験者26名を含む。）、合格者は283名であった。

区 分	研修期間	受講者数 (受験者数)	合格者数	不合格者数
化粧品化学	5月13日～5月24日	受講 31名 再受験 4名 計 35名	24名 4名 計 28名	7名 0名 計 7名
美容技術理論 美容実習 【1回目】	7月3日～7月19日	受講 56名 再受験 8名 実技 8名 計 64名	49名 5名 5名 計 54名	実技 7名 7名 3名 3名 計 10名
衛生管理	7月23日～8月9日	受講 32名	32名	0名
文化論	8月19日～8月30日	受講 49名	48名	1名
運営管理	9月2日～9月13日	受講 32名	32名	0名
保 健	10月2日～10月18日	受講 26名	25名	1名
美容技術理論 美容実習 【2回目】	12月4日～12月19日	受講 54名 再受験 7名 実技 7名 計 61名	36名 6名 6名 計 42名	筆記 18名 1名 実技 17名 1名 1名 計 19名
理容技術理論 理容実習	1月23日～2月7日	受講 25名 再受験 7名 筆記 5名 実技 2名 計 32名	16名 6名 4名 2名 計 22名	筆記 9名 9名 1名 1名 0名 計 10名
合 計		331名	283名	48名 筆記 20名 実技 28名

(2) 同時授業担当教員資格認定研修会は、令和6年3月22日厚生労働省発生食0322第17号（理容）及び第18号（美容）により厚生労働省の認定を受け、次

のとおり実施した。延べ受講者数は28名、修了者は28名であった。

区 分	研修期間	受講者数	修了者数	未修了者数
衛生管理	2月13日～2月14日	受講 9名	9名	0名
保 健	2月18日～2月19日	受講 9名	9名	0名
文化論	2月20日～2月21日	受講 10名	10名	0名
合 計		28名	28名	0名

(3) 地区養成施設協議会主催教職員研修会は、11地区において次のとおり実施され、その実施に係る経費の一部について関係経費交付要綱に基づき助成した。

地 区	研 修 内 容	
北 海 道	期 間	10月3日～10月4日
	場 所	北海道釧路市 ANAクラウンプラザホテル釧路
	課 題	1) 学生のタイプ別響きやすい伝え方 NLP代表システムを活用する 講師：一般社団法人日本ほめる達人協会 佐久間 寿美江 2) Z世代と理美容教育 講師：株式会社リクルート 斉藤 歩 3) 理容師美容師国家試験について 講師：公益財団法人理容師美容師試験研修センター 北海道ブロック事務所 所長 高橋 俊幸 4) 令和7年度より実施する教員研修会のオンデマンド化に関する説明 講師：公益社団法人日本理容美容教育センター 5) 猛禽類と人間との共生 講師：猛禽類医学研究所 代表 斎藤 慶輔
東 北	期 間	9月26日～9月27日
	場 所	福島県郡山市 磐梯熱海温泉 華の湯
	課 題	1) 令和7年度より実施する教員研修会のオンデマンド化に関する説明 講師：公益社団法人日本理容美容教育センター 2) 分科会A 理容技術指導について 講師：大平 法正 分科会B 美容技術指導について 講師：森本 公子 分科会C エステ技術指導について 講師：吉田 直美 3) ほめ達！入門編 講師：坂井 俊之 4) バーチャル空間を使用した実技授業 講師：株式会社スリー 代表 寺村 優太

地 区	研 修 内 容	
		5) 分科会A 学生指導について 担当：AIZU ビューティーカレッジ 分科会B 特別授業についての情報交換 担当：郡山理容学校 分科会C 教務と広報におけるICT活用 担当：国際ビューティ&フード大学校
関 東	期 間	9月27日～9月28日
	場 所	東京都千代田区 ホテルルポール麹町
	課 題	1) 令和7年度より実施する教員研修会のオンデマンド化に関する説明 講師：公益社団法人日本理容美容教育センター 2) ワークから考えるこれからのコミュニケーション 講師：横浜国立大学准教授 脇本 健弘 3) 様々な体験を通して感じた人の持つ可能性と進化、そして変化の重要性 講師：ポップヴァイオリニスト 式町 水晶 4) Z世代のSNS・ネット利用実態とトラブル～教員はどうすべきか～ 講師：成蹊大学客員教授/IT ジャーナリスト 高橋 暁子 5) 未来をつくる、学ぶことの大切さ 講師：KINOSHITA GAIEN EAST STREET 取締役副社長 兼 トップスタイリスト 荻原 奈々
東 京	期 間	10月11日～10月12日
	場 所	神奈川県箱根町 箱根湯本温泉ホテルおかだ
	課 題	1) 令和7年度より実施する教員研修会のオンデマンド化に関する説明 講師：公益社団法人日本理容美容教育センター 2) Medical/Cover Makeup について 講師：石田 美紀 3) 元テレビディレクター×動画教材ワークショップ 講師：S o e a s y 久川 洋子 4) 離職率を減らす試み＝サロンバンクとは 講師：高塩 貴史
信越北陸	期 間	9月26日～9月27日
	場 所	長野県松本市 松本理容美容専門学校
	課 題	1) 『どの子も育つ』 講師：公益社団法人 才能教育研究会スズキ・メソッド 早野 龍五 2) 『書道甲子園への生徒指導について』 講師：長野県松本蟻ヶ崎高等学校 書道部顧問 大澤 逸山（一仁）

地 区	研 修 内 容	
		3) 令和7年度より実施する教員研修会のオンデマンド化に関する説明 講師：公益社団法人日本理容美容教育センター 4) 『ヘアメイクアップクリエイションセミナー』 講師：株式会社資生堂 資生堂ヘアメイクアップアーティスト 門馬 宏一 5) 分科会
東 海	期 間	11月22日
	場 所	愛知県名古屋市 東別院「ミライエ」
	課 題	1) クリエイティブテクニカルスタイル 講師：水谷 吉伸 2) 意識の向きが重なり合いさらなる高みへ 講師：的場 亮 3) 豊かな心と感性を育てる教育とは 講師：中村 文昭 4) 令和7年度より実施する教員研修会のオンデマンド化に関する説明 講師：公益社団法人日本理容美容センター
近 畿	期 間	11月16日
	場 所	京都府京都市 京都私学会館
	課 題	1) 令和7年度より実施する教員研修会のオンデマンド化に関する説明 講師：公益社団法人日本理容美容教育センター 2) 「せっかちな世界にいない子どもたちから学んだこと」 講師：NPO 法人そらいろプロジェクト京都 理事長 赤松 隆滋 3) 日本の理容業・美容業「これまで、と、これから」 講師：ヘアサロン大野グループ 代表 大野 悦司 4) 「トークショー」 講師：俳優、公益財団法人動物環境・福祉協会 Eva 代表理事 杉本 彩
大 阪	期 間	9月28日
	場 所	大阪府大阪市 ニューオーサカホテル
	課 題	1) 令和7年度より実施する教員研修会のオンデマンド化に関する説明 講師：公益社団法人日本理容美容教育センター 2) 中小組織におけるサイバー攻撃・被害の実態と現実的対策 講師：大阪商工会議所 経営情報センター 野田 幹稀 3) 第一印象UP笑顔レッスン～Let's スマイルコミュニケーション～ 講師：笑顔スクール認定 笑顔インストラクター 小藤 多恵

地区	研修内容	
中国	期間	10月12日～10月13日
	場所	岡山県倉敷市 ホテルグラン・ココエ倉敷
	課題	1) 令和7年度より実施する教員研修会のオンデマンド化に関する説明 講師：公益社団法人日本理容美容教育センター 2) 美容とメンタルケアマネジメント 講師：有限会社アクティ代表取締役 石井 香里 3) 発達障害等の理解と対応 講師：発達障害支援レインボー教室代表 津守 慎二 4) カット技術デモンストレーション 講師：P A N I C 五輪 拓也 5) 大規模災害の教訓～避難所運営を通じて～ 講師：岡山県教育庁教育政策課 教材企画専門員 高津 智子
四国	期間	10月12日～10月13日
	場所	愛媛県松山市 にぎたつ会館
	課題	1) 令和7年度より実施する教員研修会のオンデマンド化に関する説明 講師：公益社団法人日本理容美容教育センター 2) 来る南海地震に備える 講師：愛媛大学名誉教授 矢田部 龍一 3) 発達障がい・不登校生徒への対応～今どきの学生に感じるあれこれ～ 講師：新開 多恵 4) 俳句G I G ! 講師：櫛部 隆志
九州	期間	11月5日～11月6日
	場所	大分県大分市 ホテル日航大分オアシスタワー
	課題	1) 令和7年度より実施する教員研修会のオンデマンド化に関する説明 講師：公益社団法人日本理容美容教育センター 2) ほめる・認める・感謝する ～美点凝視で自分の人生を楽しみましょう～ 講師：玖珠町立くす星翔中学校 校長 山香 昭 3) 人生が変わる?!今日からできる、好感度の上がるコミュニケーション術 講師：フリーアナウンサー 財前 真由美 4) 川辺のおもてなし～観光業の防災対策・災害からの復興 講師：旅館ひたや 佐藤 龍

4. エステティック等認定制度（ABE）に関する事項

(1) 養成施設認定について

認定養成施設のうち、新規は、まつ毛エクステンション7校、更新は、エステティック4校、ネイル2校、メイクアップ3校、まつ毛エクステンション24校であった。

廃校及び未更新校を除き、エステティック13校、ネイル11校、メイクアップ12校、まつ毛エクステンション92校、延べ128校となった。

(新規認定校)

養成施設名	エステティック	ネイル	メイクアップ	まつ毛 エクステンション	認定日
専門学校中部ビューティ・デザイン・デンタルカレッジ				○	5月1日
アポロ美容理容専門学校				○	7月1日
国際ビューティ&フード大学校				○	9月1日
山形美容専門学校				○	11月1日
東京マックス美容専門学校				○	1月1日
岐阜美容専門学校				○	2月1日
小出美容専門学校				○	2月1日
合 計	0校	0校	0校	7校	

(2) 技術者認定について

学生を対象とした技術者認定は、ABE認定校において次のとおり実施された。

教 科	認定試験		認定者数	
	受験者数	合格者数	令和6年度	累計※
エステティック	222名	215名	235名	2,762名
ネイル	246名	233名	230名	2,521名
メイクアップ	303名	294名	331名	3,458名
まつ毛エクステンション	3,355名	3,131名	2,400名	12,891名
合 計	4,126名	3,873名	3,196名	21,632名

※ エステティック、ネイル、メイクアップは平成26年度、まつ毛エクステンションは平成27年度からの累計

(3) 指導者養成について

指導者養成研修会は、教育センターにおいて次のとおり実施し、受講者数は41名(再受験者1名を含む)、合格者は38名であった。

区 分	研修期間	受講者数	合格者数	不合格者数
まつ毛 エクステンション 【1回目】	6月3日～6月7日 6月17日～6月21日	受講 20名	20名	0名
		再受験 1名	0名	1名
		実技 1名	0名	1名
		計 21名	計 20名	計 1名
まつ毛 エクステンション 【2回目】	11月11日～11月15日 11月25日～11月29日	受講 20名	18名	2名
				実技 2名
合 計		41名	38名	3名

また、「まつ毛エクステンション」フォローアップ講習会は、9月25日から9月27日に開催し、受講者数は11名であった。

5. 全国理容美容学生技術大会に関する事項

養成施設の啓発普及と学生の技術レベルの向上を図るため、第16回大会を実施した。

地区大会は、7月9日から9月17日までの期間に11地区において開催され、出場校は207校、出場選手は2,425名であった。また、全国大会は、10月31日に大阪府大阪市のAsueアリーナ大阪（大阪市中央体育館）において開催し、出場校は72校、出場選手は179名であった。

地区大会及び全国大会の実施を踏まえ、運営会議を12月4日に開催し、次回大会の運営マニュアル、競技規程等の改訂について検討を行った。さらに、地区養成施設協議会会長・代表幹事合同会議を12月18日に開催し、大会運営マニュアル、競技規程等の改訂について報告した。

6. 産学連携就職情報交換事業に関する事項

理容21県、美容45都道府県で実施した結果、就職内定者は、理容4名、美容275名、合計279名であった。

7. 即戦力養成事業に関する事項

業界より即戦力となる卒業生を求められていることから、現場のニーズに即した技術の習得及び向上の支援をするため、養成施設の教員を対象とした技術講習会（ハンドマッサージ技術、理容：クラシカルバックバリエーションセット、美容：クリエイティブ・テクニカルスタイル）を実施した。

8月5日から3月25日までの期間に、11地区において開催し、受講者数は、理容51名、美容187名、合計238名であった。

8. 機関誌発行等に関する事項

- (1) 機関誌「教育センター紀要」（2024年夏号、2025年冬号）を発行し配布した。
- (2) 令和6年度から、養成施設への通知及び情報提供は、一部を除きメール送信及び社員校専用ページへの掲載とした。また、対外的折衝等に資する観点から、社員校専用

ページにより社員校の教育実情を把握するためのアンケート調査を実施した。

9. その他法人の目的達成に必要な事項

- (1) 理容師・美容師養成功労者厚生労働大臣表彰式典を令和6年10月30日にアートホテル大阪ベイタワーにおいて行い、次の37名の方が栄えある受賞者として表彰された。

都道府県	氏名	養成施設名
岩手県	山内 深雪	盛岡ヘアメイク専門学校
宮城県	佐々木里江	仙台理容美容専門学校
福島県	山崎 信子	福島県高等理容美容学院
群馬県	森村 健	高崎ビューティモード専門学校
千葉県	滝口 美緒	ユニバーサル美容専門学校
千葉県	宮近 香	東洋理容美容専門学校
東京都	遠藤真理子	日本美容専門学校
東京都	大野 直樹	国際文化理容美容専門学校渋谷校
東京都	木下 圭子	山野美容専門学校
東京都	武田明希子	東京美容専門学校
東京都	土屋 信介	山野美容専門学校
東京都	永松美由紀	国際文化理容美容専門学校国分寺校
東京都	橋立 久美	資生堂美容技術専門学校
東京都	古荘 浩司	国際理容美容専門学校
東京都	山中 貞範	ハリウッド美容専門学校
神奈川県	齊藤 春彦	湘南ビューティーカレッジ
神奈川県	本間みどり	横浜市立横浜商業高等学校別科
新潟県	長濱 尚	新潟理容美容専門学校
富山県	笹原 正徳	専門学校 富山ビューティーカレッジ
愛知県	関 美穂	中日美容専門学校
愛知県	鶴下 加代	セントラルビューティストカレッジ
愛知県	野口 恵美	専門学校中部ビューティ・デザイン・デンタルカレッジ
愛知県	日比谷美奈子	セントラルビューティストカレッジ
愛知県	古内多佳子	中日美容専門学校
三重県	加藤 正雄	伊勢理容美容専門学校
京都府	山田 英之	京都医健専門学校
大阪府	青木 敏夫	小出美容専門学校
大阪府	辻本 親作	アトム近畿理容美容専門学校
大阪府	濱地 光洋	小出美容専門学校
大阪府	福本 雅彦	高津理容美容専門学校
岡山県	福田 啓子	岡山県理容美容専門学校
徳島県	井原 加奈	専修学校徳島県美容学校
高知県	高野 敏彰	高知理容美容専門学校

都道府県	氏名	養成施設名
福岡県	緒方 直樹	大村美容ファッション専門学校
福岡県	立川 梢	大村美容ファッション専門学校
大分県	山崎さとみ	専修学校 明星国際ビューティカレッジ
鹿児島県	馬場 正人	鹿児島県美容専門学校

(2) 生徒に対する学業成績優秀者の理事長表彰は153校、195名、技術優秀者の理事長表彰は131校、154名に対して行った。

また、社員・理事長等及び養成施設の教職員に対する教育功労者の理事長表彰は、令和7年3月13日の理事会の決定を経て、次の31名の方に対して行った。

(社員・理事長等)

都道府県	氏名	養成施設名
岡山県	岡田 浩明	岡山県理容美容専門学校

(教職員)

都道府県	氏名	養成施設名
北海道	三浦佳奈美	函館理容美容専門学校
青森県	長根美佐子	八戸理容美容専門学校
青森県	工藤 徳美	青森県ビューティー&メディカル専門学校
福島県	古川ゆかり	郡山理容学校
群馬県	倉賀野正彦	高崎ビューティモード専門学校
埼玉県	千住 義祐	埼玉県理容美容専門学校
埼玉県	長谷川麻裕	大宮理容美容専門学校
東京都	設楽小夜子	国際文化理容美容専門学校渋谷校
東京都	國井 理恵	日本美容専門学校
東京都	福島三奈子	国際理容美容専門学校
東京都	田村 和子	資生堂美容技術専門学校
東京都	直田みどり	国際文化理容美容専門学校国分寺校
東京都	加藤 宏美	山野美容芸術短期大学
東京都	衛藤 薫	東京ビューティーアート専門学校
神奈川県	安田 恵語	横浜市立横浜商業高等学校別科
新潟県	宮村 政幸	新潟理容美容専門学校
石川県	藤中 瑞恵	石川県理容美容専門学校
福井県	道内 里奈	福井県理容美容専門学校
愛知県	波多野洋子	専門学校中部ビューティ・デザイン・デンタルカレッジ
三重県	西川裕希也	旭美容専門学校
三重県	杉本 絹代	伊勢理容美容専門学校
大阪府	内町 ルミ	大阪美容専門学校
大阪府	嶋本 知子	ル・トーア東亜美容専門学校

都道府県	氏名	養成施設名
大阪府	真殿由加里	大阪樟蔭女子大学学芸学部化粧ファッション学科美容コース
兵庫県	小井 宏幸	神戸理容美容専門学校
兵庫県	成田 理絵	姫路理容美容専門学校
和歌山県	磯野 博子	IBW 美容専門学校
愛媛県	松田めぐみ	愛媛県美容専門学校
愛媛県	西岡 学	河原ビューティモード専門学校
福岡県	原田あゆみ	大村美容ファッション専門学校

10. 法人の管理運営に関する事項

(1) 社員総会、理事会等

ア. 監事監査

令和6年5月14日に監事監査が行われ、令和5年度における事業報告及び財務諸表について、業務遂行の妥当性及び計算書類の正確性が認められた。

イ. 理事会

○ 令和6年6月6日に第31回通常理事会を開催し、各議案について原案どおり承認された。

第1号議案 令和5年度事業報告（案）に関する件

第2号議案 令和5年度決算（案）に関する件

第3号議案 役員を選任（案）に関する件

第4号議案 教科書編纂委員会の委員の選任（案）に関する件

第5号議案 料金の改定に関する件

○ 令和6年6月26日定時社員総会後に臨時理事会を開催し、各議案について協議し、決定した。

第1号議案 理事長、副理事長、専務理事の選定に関する件

第2号議案 指導調査委員会及び将来像検討委員会の委員の選任（案）に関する件

○ 令和7年3月13日に第32回通常理事会を開催し、各議案について原案どおり承認された。

第1号議案 令和7年度事業計画（案）に関する件

第2号議案 令和7年度予算（案）に関する件

第3号議案 普通社員及び準社員の入社（案）に関する件

第4号議案 組織規程の改正（案）に関する件

第5号議案 理事長表彰（案）に関する件

第6号議案 教科書編纂委員会の委員の選任（案）に関する件

第7号議案 令和7年度定時社員総会・通常理事会日程（案）に関する件

なお、上記通常理事会において、代表理事（理事長）及び業務執行理事（専務理事）が、職務の執行状況報告を行った。

ウ. 社員総会

令和6年6月26日に第12回定時社員総会を開催し、議案について原案どおり承認された。

議案（１） 令和５年度決算に関する件

議案（２） 役員の選任に関する件

エ．指導調査委員会

令和７年２月１９日に指導調査委員会を開催し、入社申込のあった２校について審査が行われ、その結果、入社が妥当と判断された。（その後、理事会において入社が承認されたところ）

オ．将来像検討委員会

令和６年５月１６日及び令和７年３月６日に将来像検討委員会を開催し、直近の業務・運営方針、料金改定等について議論、検討が行われた。

カ．地区養成施設協議会会長・代表幹事合同会議

令和６年１２月１８日に第２９回地区養成施設協議会会長・代表幹事合同会議を開催し、第１６回全国理容美容学生技術大会の報告及び第１７回全国理容美容学生技術大会の競技・審査・監視規程等の変更点について説明を行った。

(2) 渋谷税務署による税務調査

令和７年２月４日及び５日に渋谷税務署による源泉所得税及び復興特別所得税の実地調査が行われた。所得税の源泉徴収事務は適正に行われているとの講評があった。